

## 中部運輸局

平成 30 年 2 月 20 日 14 時 00 分発表

公共交通の先進的な取組を  
支援等しています[http://www.wtb.mlit.go.jp/chubu/minpro\\_ex/](http://www.wtb.mlit.go.jp/chubu/minpro_ex/)

〔お問合せ先〕

中部運輸局貨客混載輸送プロジェクトチーム

担当：金子、鈴木、松野

TEL 052-952-8007

## 鉄道貨客混載輸送が本格運用

— 宅配貨物輸送で長良川鉄道とヤマト運輸が連携 —

長良川鉄道の旅客列車を利用した宅配貨物の貨客混載輸送が、昨年 11 月の実証運行を経て**本年 2 月 21 日から本格運用**されます。

## 事業概要

■事業種別：旅客鉄道を利用した貨客混載輸送

■実施区間：長良川鉄道 越美南線

関駅（関市）→美並刈安駅（郡上市） 約 23km

■事業目的：ヤマト運輸株式会社の宅配貨物を長良川鉄道が幹線代替輸送することにより、宅配ドライバーの生産性向上や、地方鉄道の収支改善等を期待

※昨年 11 月に実施した実証運行の概要は、下記 URL よりご確認ください。

[中部運輸局 11 月 1 日発表資料]

<http://www.wtb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/kousei20171101.pdf>

国土交通省では、物流分野における労働力不足への対応や環境負荷の低減を推進するため、一昨年 10 月に施行された改正物流総合効率化法に基づき、トラック輸送から鉄道輸送、海上輸送への転換（モーダルシフト）や幹線輸送網の集約化、共同輸配送等の推進を図っています。

一方、地方鉄道では、急激な人口減少等に伴う利用者の大幅な減少等によって路線維持が困難となっていることから、沿線地域における維持・活性化の取組を支援しています。

これを受け、中部運輸局では一昨年に「中部運輸局貨客混載輸送プロジェクトチーム」を立ち上げ、旅客と貨物をマッチングして事業化する検討を進めて参りました。

今回の事業は、物流総合効率化と地方鉄道の維持・活性化を同時に図るため、「旅客鉄道を利用した貨客混載輸送の取組」を地域の関係者とともに形成したものです。

今後も、貨客混載輸送の輸送量・輸送区間の段階的な拡大や上下線での輸送等、より生産性の高いサービスを目指す取り組みを目指すとともに、他の地方鉄道や路線バス等における貨客混載輸送の取り組みを支援して参ります。